

丸亀で会いましょう

積極的にチャレンジしよう!

この春、香川県中讃保健福祉事務所の所長に女性が登用された。真鍋一美さんだ。社会情勢の変化や多様化する県民ニーズに応えるための重責がふりかかっていたわけだが、女性としても管理職としても肩肘張らない真鍋さんの生き方に、底力を感じた。

真鍋さんは、女性は補助的な役割を担うと考えられ、育児休業制度もなかった時代に、仕事と家庭を両立する大変さを体験しながらキャリアを積んできた。その後、労働政策課では“ワーク・ライフ・バランス”の推進役としても活躍。「以前に比べて、女性たちが働く条件は整ってきている。育児や家庭生活から得た知識・経験は、仕事をする上でも必ずプラスになるので、心配せず自信をもって育児休業をはじめ各種制度を活用して仕事と家庭を両立して欲しい」とエールをおくる。

「県に採用される職員の半数近くが女性になっても面接委員が男性ばかり。面接委員に女性を」と提言し、実現している。「女性の活躍する場は、まだまだ限られている。団塊の世代が大量退職した後の地方自治体や企業で、女性も責任ある仕事に力を発揮しなくてはならない。これまで男性の職域とみなされていた部署への女性の登用に貢献したい。女性が与えられた機会を生かして職域を広げて欲しい。」女性たちへの期待に溢れる言葉には、自分に与えられたチャンスを生かし、広い視野で積極的に取り組もうとする意欲に満ちている。

真鍋さんの所長就任は、丸亀市の意思決定の場への女性の登用にとっても大きな意味を持つ。県の出先機関トップとして、市の審議会等委員の任に就くことになった。その中の1つ防災会議は、真鍋さんが初めての女性委員（県の防災会議委員でもある）。家事・育児・介護などの経験が、防災施策に生かされることを期待したい。「防災には住民の視点が必要」と保育所の防災対策を危惧する真鍋さんの目線が、私たち丸亀市民の安心安全につながると確信する。

平成20年4月1日現在 香川県(本庁・支庁・地方事務所を含む)の管理職総数454人のうち女性管理職は33人(7.3%)
【内閣府(H20.10.7公表)：女性公務員の管理職の登用状況(都道府県・政令指定都市)より】



真鍋一美さん

ゆめネットワーク情報紙



第20号

飯山北幼稚園



平成20・21年度
男女共同参画モデル校



東中学校

ゆめネットワーク男女共同参画講演会

男もつらいよ!!

～ワシも族チェック! あなた(の夫)は大丈夫?～

Information

男女共同参画講演会

経営戦略・地域戦略としての ワーク・ライフ・バランス

講師 ● 渥美 由喜さん(株)富士通総研 主任研究員)
とき ● 平成21年2月13日(金)14:00～
ところ ● 綾歌・アイレックス 小ホール
主催 ● 丸亀市

※一時保育あり(要予約)
※問合せ・一時保育申込み/市企画課男女共同参画室
(TEL24-8839)

参加
無料

図書紹介



「デートDV」

遠藤智子 <KKベストセラーズ>
結婚していない若者カップルの間で、交際相手のふるう暴力にあい、深い傷をおっている女性が増えている。当事者が、愛を装う暴力を見抜き拒否するためのアドバイス、効果的な対処の仕方、予防のためのスキルを掲載。

「お父さんのための1日10分、本気の子育て」

松井直輝 <幼児教育>
子どものよりよい成長を願うお父さんのための子育ての秘訣。肩の力を抜いて、できることからちょっと実践していくだけで、おもしろく、しあわせになれる。

8/7



石蔵文信さん(大阪大学大学院医学系研究科准教授)

「ワシも族」とは、「ワシも」と妻に付きまとう夫のこと。仕事一筋に頑張ってきた男性がなりやすい。夫は、定年退職後、釣り、ゴルフ、旅行と楽しい毎日を過ごすが、そのうち時間をもてあましてしまう。一方、妻は仕事や家事、友だちや地域との関わりで出かけることも多い。そこで、夫は妻の生活に干渉し始める。そんな夫がうとうとして、妻の更年期がひどくなったり、熟年離婚が増加したりしている。

若い時から、夫が妻とうまくコミュニケーションをとることが大事だ。

働き盛りの中老年男性の中には、過労から健康をくずし、不定愁訴を訴える人が多くなっている。責任感が強く弱音をはかないので、症状が改善せず、精神的に追い詰められてくる。そんな場合には、躊躇せずに男性更年期外来を夫婦で受診した方がいい。妻が夫の本音を聞き、病気を理解すると治療がはよくなる。夫婦の相互理解と家庭内の温和がうまれる。今日から心と体の健康づくりが大切だ。

【参加者アンケートによる感想より】

- ・夫婦で互いに思いやって、二人で仲良く楽しい毎日が送れるように頑張っていこうと思った。(女性)
- ・男性も自立できることが必要。うつと不安の関係についても知ることができた。楽しく軽妙な語りでよかった。(男性)
- ・男性が料理することはステキだ。(女性)
- ・楽しくて為になった。夫の悩みを聞いてあげられるようになりたい。(女性)
- ・我慢がストレスになる。男の甲斐性とかメンツにとられることなく、時にはケンカも厭わず自己主張したい。(男性)

ゆめオープン

●「最近のガス事情について」

とき ● 平成21年1月22日(木)13:30～15:00
講師 ● 四国ガス株式会社 担当者
主催 ● 丸亀消費者友の会

●「グローバルセミナー ～アメリカの社会情勢などについて～」

とき ● 平成21年2月10日(火) 13:30～15:00
講師 ● 国際交流員
主催 ● ウイングL

編集後記

暗闇に、幻想的な光がゆらぐウミホタルをみたことがある。「オワンホタル発光の仕組みは、それとは違うらしい。どうして光るの?」未知のものを探求し解明したい思いが、緑色蛍光たんぱく発見・ノーベル化学賞受賞につながった。物理学賞とあわせて4人の日本人男性研究者受賞の快挙。地道な学究生活を支えるのは、強い意志と研究費などの支援体制。女性科学者の活躍も応援したい。(Y)